

鳥取県地震

2023年（令和5年）7月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
2023年（令和5年）は鳥取地震から80年！	3

- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

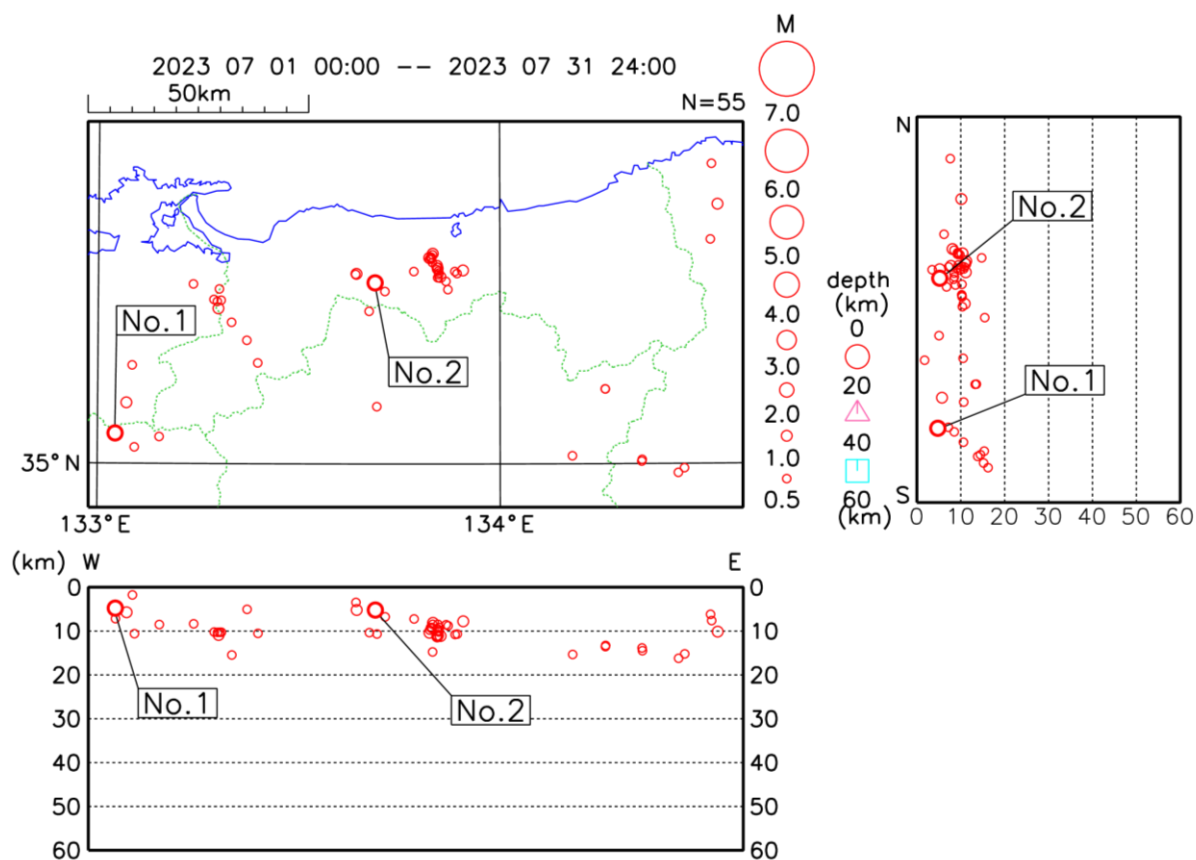
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

- 本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2023 年 7 月に鳥取県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震は 1 回（前月は 0 回）でした。

26 日 21 時 37 分 隠岐島近海の地震（深さ 37km、M4.5：上図の範囲外）により、島根県海士町・隠岐の島町で震度 2 を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、広島県で震度 1 を観測しました。鳥取県内では鳥取市、湯梨浜町、北栄町、米子市、境港市、日吉津村、江府町、南部町で震度 1 を観測しています。

上記震央分布図内において、M2.0 以上の地震は 2 回（前月は 1 回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2023 年 7 月 1 日 00 時 00 分～2023 年 7 月 31 日 24 時 00 分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00'～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2023 年 07 月 02 日 03 時 37 分	広島県北部	35° 3.7' N	133° 2.6' E	5	2.4	—
2	2023 年 07 月 18 日 22 時 27 分	鳥取県中部	35° 22.2' N	133° 41.4' E	5	2.0	—

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

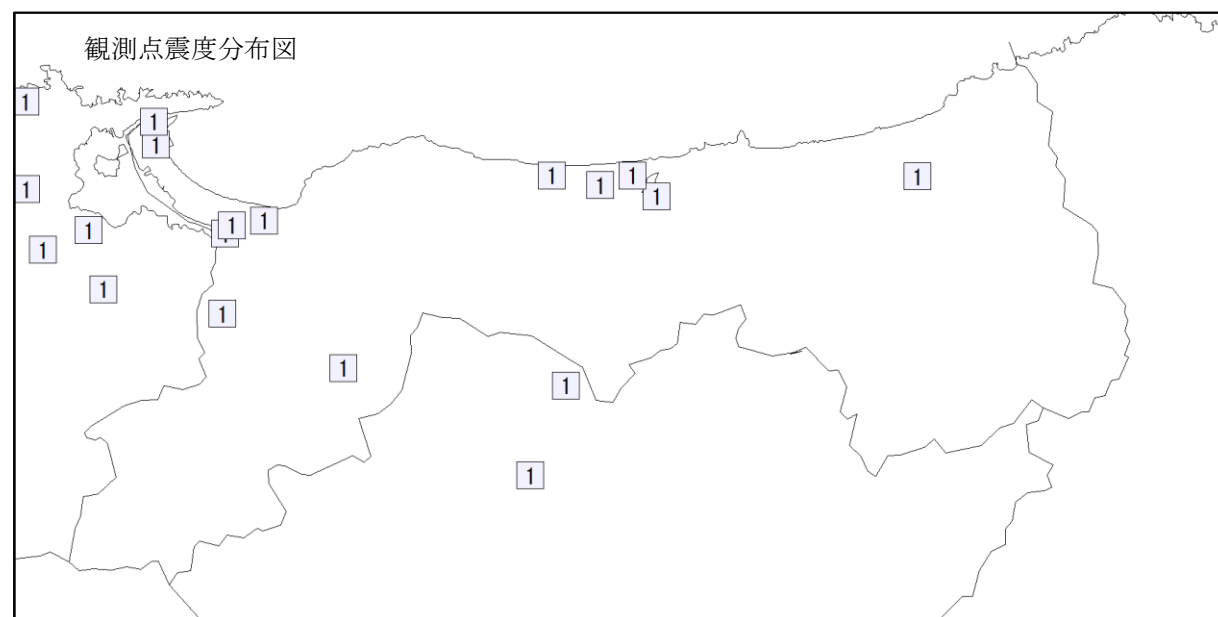
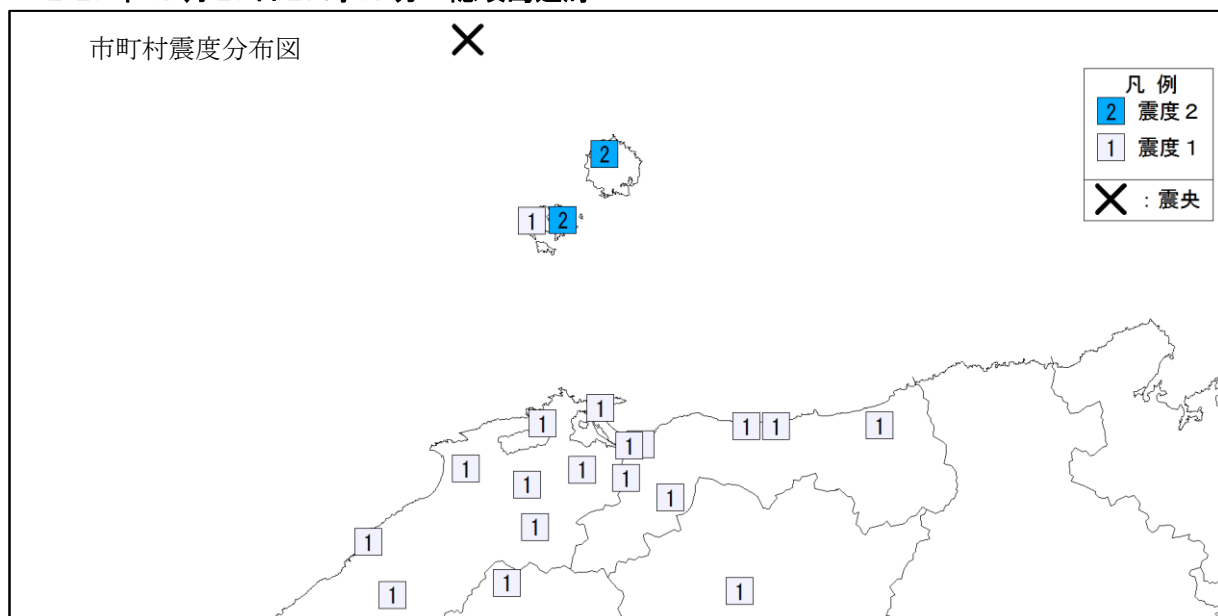
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2023 年 07 月 26 日 21 時 37 分	隠岐島近海	36° 37.6' N	132° 44.7' E	37km	M4.5
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 鳥取市吉方, 湯梨浜町久留*, 湯梨浜町龍島*, 北栄町由良宿*, 北栄町土下*,					
米子市博労町, 米子市東町*, 境港市東本町, 境港市竹内町*, 日吉津村日吉津*,					
江府町上之段広場*, 鳥取南部町法勝寺*					

・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]

2023 年 07 月 26 日 21 時 37 分 隠岐島近海



(3) 地震・津波の知識

2023 年（令和 5 年）は鳥取地震から 80 年！

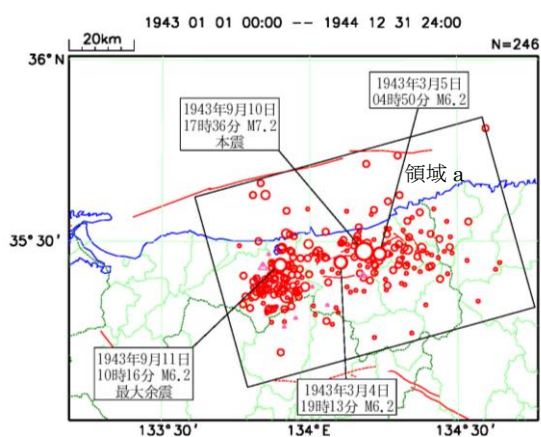
今年（2023 年）は、鳥取地震の発生から 80 年目となります。

鳥取地震は、1943 年（昭和 18 年）9 月 10 日に発生した、鳥取県東部を震源域とするマグニチュード（M）7.2 の地震です。鳥取県に甚大な被害をもたらしました。

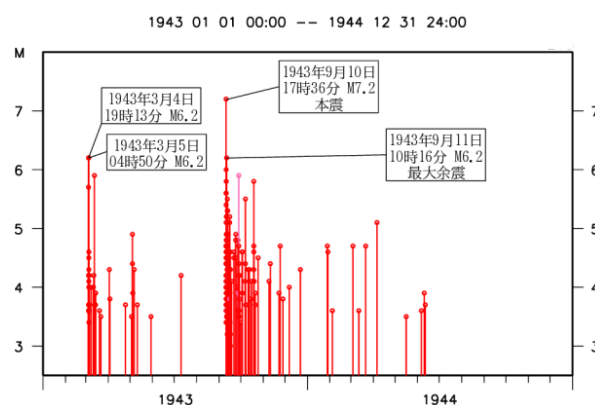
概要

発生日時：1943 年 9 月 10 日 17 時 36 分
震央：北緯 35 度 28 分 東経 134 度 11 分
深さ：0 km
地震の規模：M7.2
最大震度：震度 6（注：当時の震度階級の最大）

鳥取地震は鳥取県東部を震源域とした陸域の浅い地震で、鳥取測候所（気高郡湖山村、現鳥取市）で震度 6 を観測しました。最大余震（M6.2）は、本震の翌日に発生しています。この地震の約半年前の 3 月 4 日と 5 日には鳥取地震とほぼ同じ場所で、M6.2 の地震が発生していました。



1943 年～1944 年にかけての震央分布図
($M \geq 3.0$ 、深さ 0 ～ 60km)



領域 a における規模別地震活動経過図

この地震により鳥取市街の南西に広がる丘陵部で地表にずれが現れ、当時の東京帝国大学地震研究所が調査に当たり、後に鹿野－吉岡断層と命名されました。

鳥取地震による被害は主に鳥取平野の地盤の弱い地域に集中し、死者 1,083 名、負傷者 3,259 名、家屋全壊 7,485 棟にのぼりました。

都市別	死者	重傷者	軽傷者	全壊	半壊	全焼	半焼
鳥取市	854	544	1988	5754	3182	250	16
岩美郡	56	12	137	694	916		
八頭郡	49	11	15	3	28		
気高郡	120	100	450	1014	1703	1	
東伯郡	4	2		20	329		
合計	1083	669	2590	7485	6158	251	16

出典：東京大学出版会「日本被害地震総覧599-2012」

鳥取地震が発生した9月10日を前に鳥取地方気象台ホームページに鳥取地震の被害写真などを掲載した特集ページを作成しました。過去の災害を振り返り地震への備えを確認し、日頃の災害対策を改めて見直してください。

https://www.data.jma.go.jp/tottori/disaster/1943tottori_jishin/index.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和5年7月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313